

みんなで節電チャレンジ
(茨城県・東海村節電モデル地区プロジェクト)

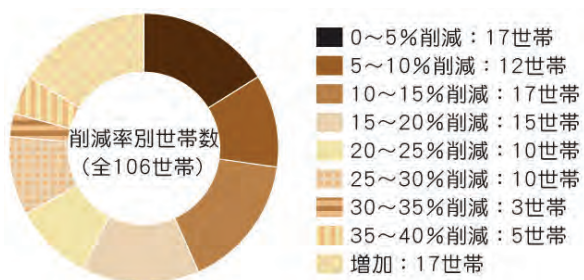
＜概要＞

茨城県地球温暖化防止活動推進センターでは、NPO 法人茨城県環境カウンセラー協会と日立理科クラブが中心となって、コンソーシアム（共同体）を構築し、東海村内のモデル地区において電力使用量の 15%削減を目標に節電対策を実施しています。

東海村全域の 31 の各自治会から 3～4 世帯を選定して、計 119 世帯の参加協力を得てモデル地区を設定して節電対策を実施しました。

節電対策の内容は、各家庭にヨシズ、節電タップ、LED 電球を配付。**サポーター（調査員）が各家庭を巡回訪問し、それぞれの家庭の状況にあった取り組みをアドバイスしながら7～9月の3ヶ月間、節電の取り組みを実践してもらいました。**節電効果は、サポーターが巡回して電力メーターを検針した数値と、昨年度の電気使用量のお知らせから算出しました。

- | | |
|------------|--|
| 1. 参加協力世帯数 | 119世帯 |
| 2. 実調査世帯数 | 106世帯 |
| 3. 調査期間 | 平成23年7月1日～8月1日 |
| 4. 調査方法 | サポーターが2人1組で4班を編成し、全世帯を週に1回巡回して検診し、1ヶ月の電気使用量を確認し、昨年7月の「電気使用量のお知らせ」との比較で削減量を算出した。 |
| 5. 結果 | ①全世帯の削減率 平均11.2% 最大45.9%
②15%以上の削減率世帯数 43世帯（41%）
③削減率別世帯数 |



削減率算出方法

削減率を算出するにあたっては以下の算式による

$$C=1-B/A$$

A: 22年7月の1日あたりの電気使用量
(電気使用量のお知らせ)

B：23年7月の1日あたりの電気使用量
(各家庭現地検針結果)

C: 削減率

※ただし、Aの22年7月の1ヶ月間は6月20日から7月20日前後の期間である。

○水戸気象台の昨年7月と今年7月の気温は平均でほぼ同じでしたが、約84%の世帯で、昨年より電気使用量が減少し、41%の世帯で15%以上の削減を達成した。

○アンケート調査を実施し、節電ツールを配布したことを契機に取組みを開始した家庭の割合を集計した結果は、ヨシズ 32%、節電タップ 29%、白熱電球取止め 28%であり、震災後にこれらに自主的に取組んだ世帯の割合を 8~16%上回る効果があった。